



Japanese Society
of Oral Implantology

17(Fri.)-19 (Sun.)
September 2010

Sapporo
Convention Center
Sapporo Business
Innovation Center

日口腔インプラント誌

J.Jpn. Soc. Oral Implant.

<http://www.shika-implant.org/>

日本口腔 インプラント学会誌

Journal of Japanese Society of Oral Implantology

第40回

(社) 日本口腔インプラント学会 学術大会

(第30回 (社) 日本口腔インプラント学会
東北・北海道支部総会・学術大会併催
第3回日本口腔検査学会総会・学術大会同時開催)

第23巻 特別号

会 期:平成22年9月17日(金)-19日(日)
会 場:札幌コンベンションセンター
札幌市産業振興センター
主 管:(社)日本口腔インプラント学会 東北・北海道支部
大 会 長:松沢耕介
((社) 日本口腔インプラント学会常務理事
東北・北海道支部支部長)

vol. **23** Special Issue / 2010.9

社団法人 日本口腔インプラント学会

0-2-1-3 禁煙治療サポート経験

○渡辺 悦子、吉井 あい子、山内 大典、渡辺 孝夫
医療法人恵生会 厚生歯科

Experiences to support treatment for smoking

○WATANABE E, YOSHII A, YAMAUCHI D, WATANABE T
kosesika dental clinic

I 目的：口腔インプラントや外科手術において喫煙による為害作用は数多く報告されている。

昨年当学会において、インプラント脱落の原因の1つに喫煙が考えられ禁煙の重要性を認識した症例を報告した。今回、禁煙治療薬剤バレニクリンを用いて禁煙治療を行った症例についてサポートした経験を報告する。

II 材料と方法：

・期間2009年9月より2010年5月

・年齢40歳から65歳，男性6名，女性1名，合計7名の当医院に来院した喫煙患者。

・禁煙治療薬服用対象期間3カ月。1か月間の継続した禁煙を成功とした。

・使用禁煙治療薬剤:バレニクリン酒石酸塩錠。

喫煙の程度はニコチン依存度テスト，プリンクマン指数により判定し，喫煙の確認は来院時の一酸化炭素の測定と禁煙日誌や問診で行った。歯科医師の指示のもとでクリニカルパスに従い禁煙指導及び支援を行った。

III 結果：禁煙の動機としてはインプラントの成功の為3人，健康維持の為2人，家族の為2人であった。インプラント手術

は禁煙成功の動機になりうると考えられる。バレニクリン酒石酸塩錠による副作用とみられる嘔気て服用を中断したものは3人いたがいずれも禁煙には成功した。当医院に来院し，喫煙習慣をもつインプラント治療やメンテナンス，歯周病患者に禁煙治療薬を使用して禁煙治療をした結果，7人中6人が禁煙に成功した。

IV 考察ならびに結論：ニコチンの依存度やプリンクマン指数の高さと禁煙の難易度とは一致するとは限らなかった。自助努力による禁煙より，医院で禁煙のサポートをうけながらの治療のほうがやりやすいとの声があった。バレニクリン錠による禁煙治療は歯科においても有効な禁煙方法として使用できると考えられた。長期にわたるリコールシステムを持つ歯科インプラント治療は，禁煙の続行をもサポートできる条件を備え，かつ又，初診からメンテナンスに至るまで患者に関わる歯科衛生士の役割は重要と考えた。